



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月1日

上場会社名 ホリイフードサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3077 URL <http://www.horiifood.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)飯田 益弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)大貫 春樹 (TEL)029(233)5825
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,232	△10.5	12	—	△82	—	△403	—
29年3月期第2四半期	3,613	△10.4	△72	—	△72	—	△448	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△71 09	— —
29年3月期第2四半期	△79 04	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,183	2,246	53.7
29年3月期	4,717	2,682	56.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,246百万円 29年3月期 2,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	— —	0 00	— —	7 00	7 00
30年3月期	— —	0 00			
30年3月期(予想)			— —	7 00	7 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,650	△8.8	140	127.7	46	4.7	△314	—	△55 39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	5,670,000株	29年3月期	5,670,000株
30年3月期2Q	439株	29年3月期	439株
30年3月期2Q	5,669,561株	29年3月期2Q	5,669,623株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間は、既存店舗の業況改善を優先することとし、新規出店は実施しておりません。

また、改善が困難と見込まれる業績不振店舗の閉鎖により損失を切り離し、全社業績の改善を図る方針であります。

なお、業態変更により改善が見込まれる店舗（茨城県水戸市1店舗及び栃木県大田原市1店舗）につきましては、フランチャイズによる業態変更を決定しました。

以上により、当第2四半期会計期間末の店舗数は120店舗となり、前事業年度末から13店舗減少し、前年同四半期会計期間末と比べた場合は20店舗減少いたしました。

業績につきましては、既存店舗は減収傾向から脱しつつありますが、閉鎖店舗にかかる減収により、売上高は3,232,822千円と前年同四半期に比べ380,314千円(10.5%)減少しました。

利益面につきましては、売上総利益は前年同四半期に比べ315,276千円減少しましたが、業績不振店の閉鎖等により販売費及び一般管理費が2,327,679千円と前年同四半期に比べ400,810千円(14.7%)減少したことにより営業利益は12,847千円と前年同四半期に比べ85,534千円増加しました。しかしながら、営業外費用に「支払手数料」80,609千円を計上したこと等により、経常損失は82,995千円と前年同四半期に比べ10,488千円増加しました。

また、回収可能性の判定等による「減損損失」275,054千円、新たに確定した閉鎖店舗にかかる「店舗閉鎖損失引当金繰入額」36,405千円等の合計312,856千円を特別損失に計上したことにより、税引前四半期純損失は395,052千円と前年同四半期に比べ42,180千円増加しました。しかしながら、四半期純損失につきましては403,052千円となり、前年同四半期において繰延税金資産の取崩を行いましたので前年同四半期に比べ45,067千円減少しました。

当第2四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減対比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	3,613,137千円		3,232,822千円		△380,314千円	-10.5%
販売費及び一般管理費	2,728,489千円	75.5%	2,327,679千円	72.0%	△400,810千円	-14.7%
営業利益又は営業損失(△)	△72,686千円	△2.0%	12,847千円	0.4%	85,534千円	—
経常損失(△)	△72,506千円	△2.0%	△82,995千円	△2.6%	△10,488千円	—
四半期純損失(△)	△448,120千円	△12.4%	△403,052千円	△12.5%	45,067千円	—

当第2四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

	売上高		営業利益又は営業損失(△)	
	金額	前年同期増減対比	金額	前年同期増減対比
北関東エリア	1,209,637千円	△206,122千円 (△14.6%)	58,155千円	31,978千円 (122.2%)
首都圏エリア	1,429,155千円	△145,765千円 (△9.3%)	135,299千円	20,716千円 (18.1%)
東北エリア	592,993千円	△26,307千円 (△4.2%)	39,510千円	△19,574千円 (△33.1%)
その他	1,035千円	△2,119千円 (△67.2%)	△220,118千円	52,412千円 (—)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、2,011,411千円となり前事業年度末に比べ141,482千円(6.6%)減少しました。

これは主に、決算月次の売上高の減少による「現金及び預金」の減少64,510千円及び「売掛金」の減少11,812千円、店舗減少等による「原材料」の減少10,639千円、主に法人税等の還付による「未収還付法人税等」の減少37,847千円を含む「その他」の減少47,883千円等によるものであります。

固定資産は、2,172,089千円となり前事業年度末に比べ392,256千円(15.3%)減少しました。

これは主に、減損損失の計上及び減価償却の進捗による「有形固定資産」の減少368,492千円、返戻及び店舗閉鎖に伴う放棄による「長期貸付金」の減少10,425千円、店舗閉鎖による「敷金及び保証金」の減少24,804千円等に対し、主に期末評価額の増加による「投資有価証券」の増加7,856千円を含む「その他」の増加9,930千円等によるものであります。

(負債の部)

流動負債は、1,218,639千円となり前事業年度末に比べ120,085千円(9.0%)減少しました。

これは主に、決算月次の仕入高の減少による「買掛金」の減少46,630千円、満期償還による「1年内償還予定の社債」の減少100,000千円、返済の進捗による「1年内返済予定の長期借入金」の減少29,480千円等に対し、賞与算定期間の差異による「賞与引当金」の増加16,390千円、店舗閉鎖に伴う振替による「資産除去債務」の増加18,025千円、主に「未払消費税」の増加11,165千円を含む「その他」の増加32,976千円によるものであります。

固定負債は、718,720千円となり前事業年度末に比べ22,246千円(3.2%)増加しました。

これは主に、年間資金計画による借入実施による「長期借入金」の増加97,147千円に対し、店舗閉鎖による「資産除去債務」の減少62,505千円、主に返済の進捗による「リース債務」の減少17,145千円を含む「その他」の減少12,394千円等によるものであります。

(純資産の部)

純資産合計は、2,246,140千円となり前事業年度末に比べ435,900千円(16.3%)減少しました。

これは「四半期純損失」403,052千円、「剰余金の配当」39,686千円に対し、「その他有価証券評価差額金」の増加6,839千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、319,127千円となり、前事業年度に比べ15,010千円(4.5%)減少いたしました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは26,790千円となり前年同四半期に比べ122,192千円(82.0%)減少しました。

これは、次の資金増減要因によるものであります。なお、()内は前年同四半期との資金の増減比較であります。

○主な現金増加要因

- ・非現金費用として計上した「減価償却費」が124,021千円(85,860千円減少)
- ・非現金費用として計上した「減損損失」が275,054千円(49,566千円増加)
- ・「賞与引当金の増減額」が16,390千円(845千円減少)
- ・前事業年度末残高の回収により「売上債権の増減額」が11,812千円(7,623千円減少)
- ・店舗閉鎖等による「たな卸資産の増減額」が10,639千円(5,218千円増加)
- ・「その他の負債の増減額」が55,473千円(48,203千円増加)
- ・「法人税等の還付額」が34,490千円(7,291千円増加)

○主な現金減少要因

- ・「税引前四半期純損失」が△395,052千円(42,180千円減少)
- ・前事業年度末残高の決済による「仕入債務の増減額」が△46,630千円(13,237千円減少)
- ・「未払金の増減額」が△16,324千円(3,647千円減少)
- ・「法人税等の支払額」が△8,769千円(3,138千円増加)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは65,588千円となり前年同四半期に比べ182,341千円増加しました。

主要な資金の増減は次のとおりであります。なお、()内は前年同四半期との資金の増減比較であります。

○主な現金増加要因

- ・「定期預金の払戻による収入」130,000千円(130,000千円増加)
- ・「建設協力金の回収による収入」8,582千円(626千円減少)

- ・店舗閉鎖に伴う「敷金及び保証金の回収による収入」が42,289千円(7,174千円増加)

○主な現金減少要因

- ・「定期預金の預入による支出」△84,020千円(20,000千円増加)
- ・「有形固定資産の取得による支出」△13,885千円(78,129千円増加)
- ・フランチャイズ加盟等に伴う「敷金及び保証金の差入による支出」が△8,600千円(8,418千円減少)
- ・店舗閉鎖に伴う「資産除去債務の履行による支出」が△9,576千円(4,706千円減少)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは107,389千円となり前年同四半期に比べ236,838千円減少しました。主要な資金の増減は次のとおりであります。なお、()内は前年同四半期との資金の増減比較であります。

○主な現金増加要因

- ・「短期借入れによる収入」50,000千円(150,000千円減少)
- ・「長期借入れによる収入」300,000千円(—)

○主な現金減少要因

- ・「短期借入金の返済による支出」△50,000千円(—)
- ・「社債の償還による支出」△100,000千円(100,000千円減少)
- ・「長期借入金の返済による支出」△232,333千円(13,804千円増加)
- ・「ファイナンス・リース債務の返済による支出」△35,489千円(578千円減少)
- ・「配当金の支払額」39,567千円(63千円減少)

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成30年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、最近の売上の状況及び特別損失の計上等を踏まえ、平成29年5月8日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成29年11月1日に公表いたしました「特別損失の計上、第2四半期累計期間業績予想と実績との差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,833,651	1,769,141
売掛金	70,491	58,678
原材料	51,143	40,503
前払費用	103,800	97,163
繰延税金資産	34,003	34,003
その他	59,803	11,920
流動資産合計	2,152,894	2,011,411
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,238,147	889,753
その他(純額)	80,766	60,668
有形固定資産合計	1,318,914	950,421
無形固定資産		
投資その他の資産	2,732	2,200
長期貸付金	153,344	142,919
繰延税金資産	259,855	258,402
敷金及び保証金	698,970	674,166
長期預金	6,970	10,490
その他	123,557	133,487
投資その他の資産合計	1,242,699	1,219,466
固定資産合計	2,564,345	2,172,089
資産合計	4,717,239	4,183,500

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,299	135,669
短期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	315,606	286,126
未払金	240,167	239,102
未払法人税等	28,803	23,747
賞与引当金	17,173	33,564
店舗閉鎖損失引当金	53,203	48,497
株主優待引当金	13,646	13,104
資産除去債務	35,984	54,010
その他	151,841	184,817
流動負債合計	1,338,725	1,218,639
固定負債		
長期借入金	125,309	222,456
資産除去債務	527,842	465,337
その他	43,322	30,927
固定負債合計	696,473	718,720
負債合計	2,035,199	1,937,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,375	292,375
資本剰余金	282,375	282,375
利益剰余金	2,104,674	1,661,934
自己株式	△192	△192
株主資本合計	2,679,232	2,236,492
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,807	9,647
評価・換算差額等合計	2,807	9,647
純資産合計	2,682,040	2,246,140
負債純資産合計	4,717,239	4,183,500

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,613,137	3,232,822
売上原価	957,334	892,295
売上総利益	2,655,803	2,340,527
販売費及び一般管理費	2,728,489	2,327,679
営業利益又は営業損失(△)	△72,686	12,847
営業外収益		
受取利息	1,397	1,142
受取配当金	1,729	2,145
その他	3,434	3,066
営業外収益合計	6,561	6,354
営業外費用		
支払利息	5,748	4,108
支払手数料	—	80,609
その他	633	17,479
営業外費用合計	6,382	102,196
経常損失(△)	△72,506	△82,995
特別利益		
固定資産売却益	10	798
特別利益合計	10	798
特別損失		
固定資産除却損	11,755	1,023
減損損失	225,487	275,054
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	36,405
その他	43,132	372
特別損失合計	280,375	312,856
税引前四半期純損失(△)	△352,872	△395,052
法人税等	95,247	8,000
四半期純損失(△)	△448,120	△403,052

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△352,872	△395,052
減価償却費	209,882	124,021
減損損失	225,487	275,054
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,236	16,390
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△503	△541
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	35,098	△4,705
固定資産売却損益(△は益)	△10	△798
固定資産除却損	11,755	1,023
受取利息及び受取配当金	△3,127	△3,287
支払利息	5,748	4,108
売上債権の増減額(△は増加)	19,436	11,812
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,420	10,639
その他の資産の増減額(△は増加)	1,104	5,430
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,392	△46,630
未払金の増減額(△は減少)	△12,677	△16,324
その他の負債の増減額(△は減少)	7,269	55,473
その他	1,751	△34,059
小計	137,607	2,553
利息及び配当金の受取額	2,703	2,709
利息の支払額	△6,618	△4,193
法人税等の還付額	27,199	34,490
法人税等の支払額	△11,908	△8,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,983	26,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△64,020	△84,020
定期預金の払戻による収入	-	130,000
有形固定資産の取得による支出	△92,015	△13,885
有形固定資産の売却による収入	10	798
建設協力金の回収による収入	9,208	8,582
敷金及び保証金の差入による支出	△181	△8,600
敷金及び保証金の回収による収入	35,114	42,289
資産除去債務の履行による支出	△4,869	△9,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,753	65,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	50,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△246,137	△232,333
社債の償還による支出	-	△100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△34,910	△35,489
配当金の支払額	△39,503	△39,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,448	△107,389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	161,678	△15,010
現金及び現金同等物の期首残高	374,020	334,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	535,698	319,127

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。